

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

「省エネ情報リテラシー教育」

テーマ： f. 方法・手段 / 9班

発表日：2013/11/29

会場：国立情報学研究所

無駄工ネ

図書館

- 労力
- 人員
- 資源

学生・教員

- 時間
- タイミング
- レベル
- 目的

ムダ



解決策① モノ

ICTツツール

を活用

たとえば・・・

- iPad・スマホ
- Moodle(ムードル)
- Podcast
- SNS(Twitter, LINE, Facebook)

期待できる効果

- iPad

iPad・スマホ
片手に書架へ
GO!

-

- Podcast

-

-

iPadで講習会

LINE

Moodle・Podcast
好きな時間
好きな場所
好きなメニューを
何度でも

SNS
拡散希望！

解決策② ヒト

学生・教員

を活用

たとえば・・・

- ゼミ飲みへ参加！
- 学生ボランティア
- 学生アルバイト
- 雑談

期待できる効果

- ゼミ飲み会

ニーズ・流行
の
キャッチ

- 学生ボランティア

- ロコミ

知識の拡散・
伝達

- 雑談

図書館の省エネ

- 資料作成
- 資料改訂
- アンケート集計
- ログの活用(利用状況の把握)
- ガイダンスの時間
- 成果物の共有(学内・学外とも)
- 広報
- ニーズ把握



学生の省エネ

- ガイダンスの時間
- 受講のタイミング
- 情報を探す時間
- 遠隔地からでも受講可能



教員の省エネ

- 文献検索に時間をとられない
- 学生の理解度の把握
- 学生の理解度UPによる講義の効率化
- 図書館との役割分担



省エネに成功！

図書館

- 労力
- 人員
- 資源

学生・教員

- 時間、タイミング
- レベル
- 目的

